

株式会社豊田自動織機

共和工場 生技開発センター

ワーカーの声とエビデンスをもとにオープン会議室をWell-Beingな空間に

共和工場生技開発センターは、生産技術部門の本社機構として工法開発や設備製作を行う部門。そこに設置されていたオープン会議室が、新しいミーティングエリアにリノベーションされた。会議室が開放型のため、隣接する設計チームから会議の音が気になるという指摘を受けた設備技術室機械設計第4G GM 大島康之氏は「WEBでパナソニックのサウンドマスキングを知り、worXlabを訪れた。そこで触れた多様な課題を解決するソリューションが、その後のオフィスリノベーションを考える際に役立った」と語る。程なくして、全社的なオフィス環境を整えるリノベーション計画が始動。大島氏より提示された15の課題を基にパナソニックが提出したのが、WELL認証の考え方をベースにしたプラン。コミュニケーションエリアではWEB会議にも対応できる環境を整え、集中エリアには個人ブースを設けて作業環境を整える。その間に、コミュニケーションの交差点としてリフレッシュエリアを設ける計画だった。「当社では、設備導入時に根拠の提示が求められるが、私たちが積み上げてきた要望と、めざす方向を理解してくれた上で、理由付けやエビデンスをもってコンセプト立案も手伝ってくれたので助かった」と大島氏。



BEFORE



AFTER



AFTER



AFTER

1. リノベーション前のオープン会議室。画面奥にあるのが利用頻度が少なかった書庫 2. リノベーション後のコミュニケーションエリアは自然を感じさせる木調の空間に 3. 使われていなかった書庫はリフレッシュエリアと集中エリアに 4. worXlabで出合った多彩な製品が納められたリフレッシュエリア

社員ヒアリングによって抽出された15の課題

No	課題
1	コミュニケーションエリアでの会議の音が気になる
2	機密性の高い資料の作成場所がない
3	発表練習できる環境がない
4	周囲を気にせず1人でもオンライン会議に参加できる場所がない
5	会議室が少ない（予約が取れないことが多々ある）
6	少人数で気軽に相談ができる会議室が欲しい
7	会議中に立って、見せたいところを指さすか、人にマウスを借りる手間がある
8	生技開発センターが保有している丸いマイクを使用すると相手が聞こえづらい
9	キャビネットの汚れが気になる
10	照明が古臭い、ミーティングに適していない照度?
11	香りの効果は大きいと聞くが快適さの体験をしたい
12	例えば、ミーティングエリア①とミーティングエリア②にて会議した場合、隣が気になる
13	気分転換できる空間が欲しい
14	ミーティングエリアの机のサイズが大きいため、真ん中がもったいない
15	照明が明るすぎて、画面がみづらい

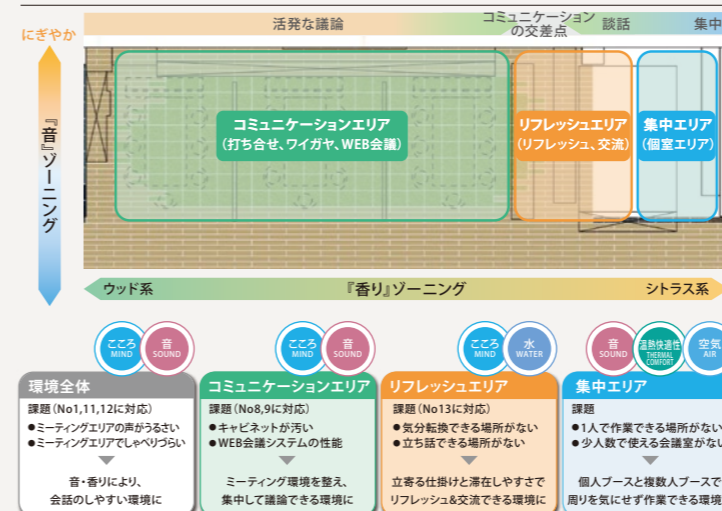


所在地 / 愛知県大府市共和町茶屋
 事業主 / 株式会社豊田自動織機
 オフィス計画 / パナソニック エレクトリックワークス株式会社
 施工 / パナソニック EW エンジニアリング株式会社
 リニューアル竣工 / 2025年8月

WEBサイトでも
 ご覧いただけます



WELL認証のコンセプトをベースに課題に対応するゾーニングを提案



リノベーションのイメージをCGによるパースで具現化



主な納入設備

- 環境音BOX
- 個室ブース「SOLO BASE」
- スポット気流
- サインマッピング
- イーブロックスタンド
- 天窓 Vision
- 新無線照明制御システム LiBecoM
- エアライトルーパー